**ハンドマイク街頭演説原稿例　　　コロナ収束・五輪中止・都議選**

二〇二一年六月七日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、コロナ変異株が猛威をふるうなか、東京都などの緊急事態宣言と、埼玉県などのまん延防止等重点措置が、６月20日まで延長されました。この一年あまり、「後手後手」「迷走」を続け、政府としてやるべきことをやってこなかった自公政治の責任であり、まさに菅政権による人災ではないでしょうか。高齢者へのワクチン接種をめぐっても混乱が続いており、このままではコロナ収束はまったく見通せません。

　日本共産党は、コロナ封じ込めの基本戦略として、「３つの柱」で政府が責任を果たすことを強く求めています。第一は、ワクチンの安全・迅速な接種に国が責任を負うことです。第二は、大規模検査を文字通り実行し、感染を徹底的に抑え込むことです。第三は、営業への十分な補償と国民への生活支援を行うことです。日本共産党は、国民のいのちと生活を守る政治の実現へ、引き続き全力で頑張る決意です。ご支援をよろしくお願いします。

　みなさん、政府コロナ分科会の尾身会長が五輪開催について、「このパンデミックのなかで、今の状況でやるというのは普通はない」と発言しました。にもかかわらず、菅政権は、あくまでも五輪開催に固執し、感染拡大のリスクも、医療体制への負荷も一体どうなるのか、まったく明らかにしようとしません。このまま五輪開催に突っ込んでいくことは、まさに目をつぶったまま断崖から飛び降りるようなものであり、国民の命をギャンブルにかけるやり方は絶対に認められません。仮に菅首相がいうように選手と大会関係者の「安心・安全」が達成されたとしても、大会運営に関わるボランティア、関係者など約１９万人によって人流は確実に増大します。そのリスクをまったく説明しないのは、あまりにも無責任な態度ではないでしょうか。日本共産党は、この夏の五輪・パラリンピックの開催中止をあらためて強く求めます。「五輪は中止し、コロナ対策に全力を」の声をともにあげていきましょう。

　みなさん、７月４日投開票で東京都議会議員選挙がたたかわれます。日本共産党は、５月末現在で31人の都議候補を擁立し、全員当選めざし奮闘しています。都内へは埼玉から毎日93万人が通勤・通学し、都内在住の家族や知人がいる方も少なくありません。４年前の都議選で１９議席と躍進した共産党都議団は、認可保育園を１．７倍に増やすなど大きな実績をあげました。今度の選挙でさらに躍進すれば、職場での社会的検査の拡大など都独自のコロナ対策の充実、東京五輪の中止決断へ大きな力となります。また、今回の都議選では野党の共闘が進んでいます。共産党のさらなる躍進は、来るべき総選挙での政権交代へ、野党共闘の加速を大きく後押しするものとなります。今度の都議選では、みなさんの大きなご支援を日本共産党にお寄せいただきますようよろしくお願いします。

　最後に、「五輪観戦に子ども８１万人動員計画」などスクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）